



浜宮だより

平成25年 1月号
(2013年)
NO. 338号

和歌山市立浜宮小学校

— 伝統の中に合理性を見つける —

あけましておめでとうございます。皆様おそろいでよいお年を迎えられたことと存じます。本年も何卒よろしくお願い致します。
さて、昨日七日は七草でした。『七草』とは、この日に七種類の野草をかゆに入れて食べる、私たち日本人の伝統文化です。

七草は、一般的には、セリ(セリ科の多年草、日本で最も栽培の歴史の古い野草のひとつ)、ナズナ(アブラナ科の一年草、ペンペン草とも言う)、ゴギョウ(キク科の二年草、ハハコグサとも言う)、ハコベラ(ナデシコ科の一年草、ハコベとも言う)ホトケノザ(キク科の越年草タビラコのこと 田や畔に自生する)、スズナ(カブの古名)、スズシロ(大根の古名)の七種類の野草を指します。

平安時代、清少納言の『枕草子』の中に「七日の若菜、六日、人の持て来」という一文があります。どうやら平安時代の貴族の間では、正月七日の日に無病息災を祈って七種の菜を煮て食べる習慣があったようです。それが庶民にも広がり、室町時代頃に七草がゆにするようになったようです。江戸時代になると、正月六日に摘み草をして、その日の夜に豊年を祈るはやしことばを唱えながら、包丁でたたき、翌朝は刻んだ葉を入れて炊き込んだ七草がゆを家族みんなで、無病息災を願って食べました。今では、都市化にともなって摘み草の習慣はなくなりましたが、スーパーで七草セットを買ってきてでも七草がゆをつくって食べる習慣は残っています。

古くからあった「初春に野草を食べる行事」がおかゆや雑草と結びつき、七草がゆの型ができあがってきたようです。厳寒について芽ぐむ七種の野草には、野生の味と香りのほかに、現代的に考えても、ビタミン類を補う意味もあり、万病の菜食として食べつがれてきた伝統があるようです。

伝統的な習慣である春の七草ですが、そこには、数々の思いや、冬期の健康のための工夫があることをお子さんと話し合っただければ幸いです。

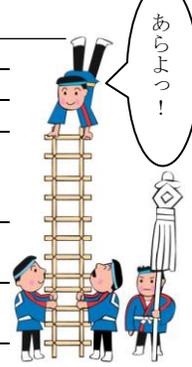
【校長 西端 幸信】



浜宮小学校の校庭に生えているものもありますよ。見つけられますか？

【 1月の行事予定 】

1	火	元旦	17	木	身体測定>3.4年
8	火	3学期始業式 学校安全の日 登校指導 セーフティネットの日 児童下校>11時半 安全点検ウィーク	18	金	避難訓練(地震・火災想定)
9	水	給食開始 いじめなくそうデー 委員会活動(5.6年)>5限目	19	土	市科学作品展(フォルテワジマ) >10時30分~16時30分
			20	日	
			22	火	給食費引き落とし
11	金	全校朝の会	23	水	学力補充(4~6年)>5限目
12	土	土曜教室	26	土	土曜教室
14	月	成人の日	26	土	後期学校美術展(市民会館)
			27	日	
15	火	身体測定>5.6年 下校指導>毎週火曜日	30	水	学力補充(4~6年)>5限目
16	水	身体測定>1.2年 クラブ活動(3年生クラブ見学)・4~6年生>5限目	31	木	租税教室(6年)>2~4限



国語教育研究発表会を終えて



本年度も和歌山市の研究指定を受けて、11月21日、国語科の研究発表会が開催されました。「言葉を大切にして文章を読み、読み取ったことを自分の考えとして書いたり、友達と交流したりしながら、考えや思いを深めていく。」このことを目指した本校の取り組みを、他校の先生方に見ていただきました。

2年生の『おもちゃの作り方』では、子ども達が中心となって上手に、尋ね、答えることができました。自分の考えが言え、聞き方も話し方もよかったと褒めていただきました。お互い励まし合って、「もっと書きたい!」という意欲を持てたのではないのでしょうか。

4年生の『ごんぎつね』では、子どもたちは教科書の中の言葉から考えた「ごん」の気持ちを顔の表情と言葉でいっぱい出し合い、その友だちの意見を聞いてまた考え直すことができました。様々な意見に出会え、受け入れることができたのです。音読も上手だと褒めていただきました。

6年生の『海の命』では、相手の意見を踏まえながら、自分の考えたことを自分の言葉で話し合うことができました。「村一番の漁師でいつづけるために、太一が大切にしていたことは何か?」という少し難しい課題について子どもたちは一生懸命考えていました。

これらの成果に満足することなく、子どもたち一人一人がもつ思いを伝え合うための手立てをこれからも探り続けていきます。子どもたちには、伝えるときに必要な「言葉」を身に付けるために、もっともっと様々な本を読んだり、新聞に目を通したり、テレビのニュースを見たりし、自分なりの考えを持てるようになって欲しいと願っています。

最後になりますが、本年度も浜宮小学校は「和歌山市子ども暗唱大会」に出場し、見事「優秀賞」をいただきました。そんな本読み大好きな子どもたちをこれからも大切に育てていきたいと思っています。

【研究主任 藤本 祐樹】

2年 生活科「おもちゃランド」…国語科「おもちゃの作り方」との合科学習で、創意工夫満載のおもちゃを作りました!!

わたしのところは、レーシングカーです。さいしょはちょっとふあんだつたよ。だけど、いっぱいきてくれたから、うれしかったよ。みほんを見せて、1年生は「わかってくれたかな?」と思いました。1年生よろこんでくれたかな? きょうの『おもちゃランド』たのしかったよ。



ここからスタートだよ^^



1年生もいっぱいきてくれたので、うれしかったです。ひっしでがんばりました。おり紙もいっぱいあげました。「ありがとう」といつてくれたのでうれしかった。



はじめぜんぜん1年生がきてくれなかったけど、おり紙に「さかなつりにきてね」と、かいて、1年生にわたしたら、きてくれました。1年生におまけでとりやすいように、ぜんぶつらせてあげたらよろこんでいました。わたしもうれしかったです。

おり紙のプレゼント「ありがとう♪」

一年生を招いて、「おもちゃランド」をしてみました。一年生に、分かれやすく、遊び方を教えてあげました。たのしかったですよ。

一年生にもらったおもちゃをみせて、自分もつくりたい…と、さういふ言葉が、子どもたちの成長が見られた取組でした。